

**クラシック音楽レーベルのナクソス (NAXOS)、
ベートーヴェンと弟子の日常を描く 4 コマ漫画を WEB 連載**

ナクソス・ジャパン株式会社は、2012年10月4日より、音楽家ベートーヴェンとその弟子の日常を描くオリジナルの4コマ漫画「運命と呼ばないで」を、公式サイトにて連載開始いたします。(閲覧完全無料) また、これに伴い、公式アルバム「べとべんべすと Beethoven-BEST」を音楽ダウンロード配信限定でリリースいたします。

「運命と呼ばないで」 特設ページ
http://naxos.jp/special/no_unmei

公式アルバム「べとべんべすと Beethoven-BEST」
<http://itunes.apple.com/jp/album/id567434940>

ナクソス (NAXOS) は、一部の著名なアーティストの録音に依存せず、メジャー作品からマイナー作品まで多様な音楽レパートリーを網羅する、独自路線のクラシック音楽レーベルです。その日本人であるナクソス・ジャパンは、そうしたレパートリーを活用して「[交響戦艦ショスタコーヴィチ](#)」シリーズなど日本ならではのユニークな商品をリリースし、大きな反響をいただいております。

このたび新たな日本向け企画として開始いたしますのは、19世紀のウィーンを舞台とした新作4コマ漫画の連載です。4コマといえば、古くから日本人にとっては親しみ深い漫画形式であり、最近では“空気系” “日常系” と呼ばれる、主人公たちのなにげない生活を淡々と描いたニュータイプの作品も流行しています。「運命と呼ばないで」は、ベートーヴェンとその弟子リース、そして彼らの音楽仲間たちの日頃のエピソードや音楽とのかかわりを、史実をベースとして、ゆるやかなギャグテイストでお届けする、“19世紀の日常系” 4コマ漫画です。

今日において、ベートーヴェンは、一般的には近寄りがたい偉人というイメージがあまりに強く、またクラシックファンにとっては定番ゆえに飽きられがちな感がある音楽家です。また、本企画のもうひとりの主人公である弟子リースは、クラシックファンにさえほとんど知られていない無名の音楽家です。この漫画を通して、ベートーヴェンの知られざるユニークな一面や、リースほか当時の音楽家たちの魅力的な素顔を少しなりともリアルにお伝えし、クラシックファンの方にもそうでない方にも、彼らの音楽をより新鮮な気持ちでお楽しみいただけることを願っております。

連載先は http://naxos.jp/special/no_unmei (「運命と呼ばないで」 特設ページ)。ストーリー構成はナクソス・ジャパン、漫画はイラストレーター の IKE が担当。更新は、毎週木曜日。全17話 (毎月1話構成) を予定しています。

なお、連載開始に伴い、公式アルバム「[べとべんべすと Beethoven-BEST](#)」を音楽ダウンロード配信限定でリリース。ベートーヴェンの人生をよりリアルに体感できる名曲を30トラック、EXTRAトラックとしてリースのピアノ協奏曲を収録しています。配信サイトは [iTunes Store](#)、Amazon MP3 (予定)。また、漫画内での登場曲を収録した配信アルバムも定期的にリリース予定です。

【漫画「運命と叫ばないで」情報】



運命と叫ばないで 作: ナクソス・ジャパン 画: IKE

更新: 毎週木曜

http://naxos.jp/special/no_unmei

僕、ホントにベートーヴェンの弟子になっても大丈夫？



舞台は1801年、ウィーン。ピアニスト志望の16歳の少年、フェルディナント・リースは、

ベートーヴェンへの弟子入りを志願して扉を叩くが…!?

クラシック音楽レーベル・ナクソスがお届けする、19世紀の日常系4コマ劇場!!



10月4日掲載内容

<p>フェルディナント・リース</p> 	<p>1784年、ボン生まれ。16歳。ピアニストになることを夢見て、音楽の都ウィーンにやってくるが、世の中そうは甘くなかった…!?</p>
<p>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン</p> 	<p>1770年、ボン生まれ。30歳。音楽の都ウィーンで頭角を現しつつある期待の音楽家だが、その素顔はいかに…!?</p> <p>得意技: オヤジギャグ</p>

キャラクター紹介

【公式アルバム「ベとべんべすと Beethoven-BEST」情報】

ベとべんべすと Beethoven-BEST



- 発売：2012年10月4日
- 価格：アルバム 900円（税込）／トラック 150円（iTunes Store）
- 配信サイト：[iTunes Store](#) [スペシャルブックレット付き]
Amazon MP3（近日開始予定）

●収録楽曲（全31曲）

1. ピアノ・ソナタ へ短調 Wo047-2 「選帝侯ソナタ第2番」 - 第1楽章
2. ピアノ三重奏曲第1番 変ホ長調 Op.1 No.1 - 第4楽章
3. ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 Op.13 「悲愴」 - 第2楽章
4. 弦楽四重奏曲第4番 ハ短調 Op.18-4 - 第1楽章
5. ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 Op.27-2 「月光」 - 第1楽章
6. 交響曲第2番 ニ長調 Op.36 - 第3楽章
7. ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 Op.37 - 第1楽章
8. ヴァイオリン・ソナタ第9番 イ長調 Op.47 「クロイツェル」 - 第1楽章
9. ピアノ・ソナタ 第23番 へ短調 Op.57 「熱情」 - 第1楽章
10. 交響曲第3番 変ホ長調 Op.55 「英雄」 - 第2楽章（葬送行進曲）
11. 歌劇「フィデリオ」 Op.72 - 終曲「良い妻を娶った者は」
12. 弦楽四重奏曲第9番 ハ長調 「ラズモフスキー第3番」 Op.59 No.3 - 第4楽章
13. ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.61 - 第3楽章
14. 交響曲第5番 ハ短調 Op.67 「運命」 - 第1楽章
15. 交響曲第6番 へ長調 Op.68 「田園」 - 第1楽章 田舎に到着したときの晴れやかな気分
16. ピアノ、合唱と管弦楽のための幻想曲 ハ短調 Op.80 「合唱幻想曲」（抜粋）
17. ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 Op.73 「皇帝」 - 第2楽章
18. 「エグモント」 Op.84 - 序曲
19. バガテル イ短調 Wo059 「エリーゼのために」
20. ピアノ・ソナタ第26番 変ホ長調 Op.81a 「告別」 - 第1楽章
21. ウェリントンの勝利 「戦争交響曲」 Op.91 - 闘い
22. 交響曲第7番 イ長調 Op.92 - 第4楽章
23. チェロ・ソナタ第5番 ニ長調 Op.102 No.2 - 第3楽章
24. ピアノ・ソナタ第29番 変ロ長調 Op.106 「ハンマークラヴィーア」 - 第1楽章
25. ピアノ・ソナタ第32番 ハ短調 Op.111 - 第2楽章
26. 荘厳ミサ曲（ミサ・ソレムニス） ニ長調 Op.123 - キリエ
27. ディアベリのワルツの主題による33の変奏曲 ハ長調 Op.120 - 主題/第1変奏/第32変奏/第33変奏
28. 交響曲第9番 ニ短調 Op.125 「合唱付き」 - 第4楽章（抜粋）
29. 大フーガ 変ロ長調 Op.133
30. 弦楽四重奏曲第16番 へ長調 Op.135 - 第4楽章
31. [Extra Track] F.リース: ピアノ協奏曲第4番 ハ短調 Op.115 - 第1楽章

【企画・発売元】

ナクソス・ジャパン株式会社

<http://naxos.jp> (公式サイト)

<https://twitter.com/naxosjapan> (Twitter) / <http://www.facebook.com/NaxosJapan> (Facebook)

【本件に関するお問い合わせ】

ナクソス・ジャパン株式会社 デジタル事業部

03 - 5486 - 5101 (代表) / info@naxos.jp (Eメール)

ナクソス・ジャパン株式会社 会社案内



■会社概要

世界的音楽レーベル「ナクソス (NAXOS)」の音源を管理する Naxos Global Distribution, Inc. (代表: Klaus Heymann、本社: 香港) の日本国内での本格的な事業化に伴い、2005 年 7 月、音楽配信サービスを主体とした「ナクソス・デジタル・ジャパン」を設立。2007 年、社名を「ナクソス・ジャパン」に変更し、音楽ソフト事業を含めた総合音楽企業として新たなスタートを切る。

商号:	ナクソス・ジャパン株式会社
設立:	2005 年 7 月 7 日
資本金:	20,000,000 円
役員:	取締役会長 Klaus Heinz Heyman 代表取締役社長 佐々木隆一 取締役副社長 佐々木順子 取締役副社長 白柳龍一 取締役 Takako Nishizaki Heymann 取締役 Astrid Angvik
所在地:	東京都世田谷区三軒茶屋 2-2-16 YK ビル 8F
事業内容:	CD/DVD のディストリビューション、オンライン音楽図書館、 音楽配信事業、ライセンス事業など

■ナクソス (NAXOS) レーベル 概要

クラシック、ジャズなどの膨大な音楽コンテンツを保有するレーベル。自らも熱烈なクラシック音楽愛好家であったクラウス・ハイマン(香港在住のドイツ人実業家)によって 1987 年、「価値合理性」と「消費者本位」を理念にスタート。既存メジャー・レーベルのスター主義では実現できない知られざる名曲の体系的な商品化 (=カタログ主義) が大きな反響を呼び、世界中に熱烈な支持者を生み、グラミー賞でも数々の受賞歴を持つ。本年 (2012 年)、創立 25 周年を迎える。